

社会医学会レター

日本社会医学会 2011-3号 2012年5月15日発行
事務局 〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学情報科学研究科 宮尾研究室
Tel/FAX: 052-789-4363 miyao@nagoya-u.jp
<http://ergo.itc.nagoya-u.ac.jp/shakai-igakukai/>

第53回日本社会医学会総会 学会長ご挨拶

学会長：高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部教授）

日本社会医学会は戦後新たな憲法の下で人々の立場から健康問題について議論する場が必要と考えて、当時の国立公衆衛生院や大阪大学医学部などの有志によってつくられたものと理解しています。わが国は経済大国となりましたが、人々の健康を取り巻く社会的な課題がかえって複雑化、多様化してきています。今回の社会医学会総会では、大阪の地で社会医学会の立ち位置を確認する機会にしたいと思っています。幸いなことに多様な企画委員の皆さまのお力添えにより企画案ができつつあります。全国から多くの人々に来阪いただき、大阪人を圧倒する熱気あふれる発表と議論ができる学会となることを期待しています。

■ 会期 7月14日（土）

大阪市内見学ツアー（コリアンタウン・釜ヶ崎）

理事会、評議員会、懇親会

7月15日（日）総会・16日（月・祝）

■ 総会会場 関西大学 高槻ミュージックキャンパス 西館
〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7番1号（Tel: 072-684-4000）

JR 東海道線高槻駅（新快速停車）下車すぐ

■ 学会長 高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部教授）

■ 参加予定者 300名（医師、保健師、研究者、学生・院生他）

■ 総会参加費 会員 3000円 非会員 4000円 院生・学生 1000円

■ 懇親会 7月14日（土）天王寺：「阪口楼」（普茶料理）

■ 企画

<メインテーマ>

社会医学の立脚点—原点から考える—

<学会長講演>

現代社会における社会医学の立ち位置

関西大学社会安全学部社会安全学科教授 高鳥毛 敏雄

<講演1>

薬害事例からみた安全政策の推移と課題

医薬ビジランスセンター 浜 六郎

<講演2>

政策評価に社会医学の視点を—ツールとしてのHIA（健康影響予測評価）の必要性— 久留米大学 石竹 達也

<講演3>

わが国のNCD（非感染性疾患）対策への警告

大阪がん相談支援センター 大島 明

各種申込先

下記の4項目の申し込みは、FAXまたはハガキ、mailにて、総会事務局まで6月末までにお申し込みください。

第53回日本社会医学会総会事務局 〒557-0031 大阪市西成区鶴見橋1丁目6番8号 NPO HEALTH SUPPORT OSAKA 内
電話/FAX: 06-6645-7381 e-mail: npo@heso.or.jp

1. 昼食用弁当の申し込み

15日・16日は大学休日のため学内食堂が休みです。弁当（お茶つき）は一つ1000円です。

昼食弁当が必要な日に○をつけてください（7月15日分・7月16日分）

2. 7月14日（土）の大阪市内見学ツアー参加申し込み 見学希望先に○をつけてください（コリアンタウン・釜ヶ崎ツアー）

3. 7月14日（土）懇親会（阪口楼）参加申し込み

天王寺駅下車徒歩5分の阪口楼（普茶料理料亭）を予定しています。飲食費は7,000円予定です。

4. 総会参加事前申し込み 総会参加希望を6月末までに総会事務局までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

<シンポジウム1>

医療と介護を結ぶ多職種連携—地域包括ケアを進める条件を考える—

司会 西垣千春（神戸学院大学）、黒田研二（関西大学）
パネリスト

1. 病院の立場から 橋田亜由美（東大阪生協病院 医師）
2. ケアマネジャーの立場から 須原 忍（総合ケアプランセンター所長）
3. 地域包括支援センターの立場から 前原由幸（藤井寺市地域包括支援センター所長）
4. コミュニティソーシャルワーカーの立場から 木村由美（ミス・プール記念ホーム）

<シンポジウム2>

新生児医療の進歩と障害児療育

座長 野田哲朗（大阪府立精神医療センター）、武内 一（佛教大学・小児科医）

1. ICU医師の立場から 平野慎也（大阪府立母子保健総合医療センター）
2. 重度心身障害児施設医師の立場から 松下彰宏（西宮すなご医療福祉センター）
3. 障害児学校教員の立場から 原田文孝（兵庫県立いなみ野特別支援学校・青野原訪問学級教諭）
4. 保護者・支援者の立場から 成田憲子（全国重症心身障害児（者）を守る会大阪支部）

<シンポジウム3>

「感染症と人権」～予防と治療のハザマにある課題～

座長 白井千香（神戸市保健所 参事）

1. HIV・AIDS 残された課題 白阪琢磨（大阪医療センター）
2. ハンセン病対策の歴史と教訓 青木美憲（国立療養所 邑久光明園）
3. 感染症法における人権の配慮 川本哲郎（京都産業大学）
4. 感染症の生命倫理 谷田憲俊（山口大学・医療環境学）

<シンポジウム4>

「現在の公衆衛生の課題」エビデンスに基づく公衆衛生とそれを担う自治体の役割

座長 柳尚夫（兵庫県洲本保健所長）

1. 市町村の抱える課題 「基礎自治体は何かできるのか」 福永富美子（摂津市保健福祉部長 保健師）
2. 都道府県と保健師の抱える課題 「行政保健師は公衆衛生活動を守るか」 森岡幸子（大阪府国保連合会）
3. 府県と市町村の連携と保健所医師の課題 「地域保健指針の見直しを受けて」 高野正子（高槻市保健所長）
4. 社会問題を自治体の政策へ反映させるには 田淵貴大（大阪府立成人病センターがん予防情報センター医師）

インターネットで、第53回日本社会医学会のプログラムや、社会医学会・旧社会医学研究会の記録を読みましょう。
<http://ergo.itc.nagoya-u.ac.jp/shakai-igakukai/>

会費の納入をお願いします。

同封された郵便振替（00920-6-182953 日本社会医学会）の用紙で、2009年度と2010年度分、2011年度分会費、未納分を、納入してください。2012年度前納も歓迎です。日付の記入のない部分が未納分です。また、銀行振込（名古屋銀行 本店営業部 3761624 日本社会医学会）もあります。銀行の口座名が会員名と異なるならば、FAX（052-789-4363）やメールでご連絡ください。

第53回日本社会医学会総会（短縮版）メイン会場（第5会場）以外（表題や所属は短縮標記。座長交渉中）

7月15日 第1会場 M704(中)					
午前			午後		
9:15 10:15	医療福祉社 ①	座長: 白阪琢磨(国病機構・大阪医療センター)	14:30 15:30	医療福祉社 ③	座長: 片平潤彦(臨床・社会薬学研究所)
		薬害HIV感染被害者・家族の支援環境構築(第一報)～自立と意思決定に関する課題 柿沼章子(社福・はばたき福祉事業団)			医薬品副作用被害救済制度を国民に定着させるために 栗原敦(全国薬害被害者団体連絡協)
		同・上(第二報)～情報支援とFACTアプローチ 久地井寿哉(社福・はばたき福祉事業団)			検証されずに風化する薬害、国と専門家は MMRワクチン薬害事件の検証を！ 栗原敦(同・上)
10:15 11:15	医療福祉社 ②	同・上(第三報)～<遺伝性疾患であることの課題と支援> 井上佳代(お茶の水女子大学)	15:30 16:30	特別口演 ①	座長: 河野 公一(大阪医科大学)
		座長: 青木美憲(国立療養所邑久光明園)			介護裁判からみる医療と介護のつながり 横田一(ジャーナリスト(元毎日新聞記者))
		「カルテがない」C型肝炎感染被害者調査からの考察-第1報 C型肝炎感染被害者の医療と生活の実態 横山由香里(岩手医大)			タイのカドミウム汚染とイタイイタイ病 寺西秀豊(富山大学)
同・上-第2報「カルテがない」薬害肝炎被害者の認定問題 片平潤彦(臨床・社会薬学研究所)					
同・上-第3報 ソーシャルワークにおけるエンパワメント・アプローチ試論 榎宏朗(新潟医福大)					

7月15日 第2会場 M705(中)					
9:15 10:15	地域保健 ①	座長: 山崎 喜比古(PHR付属ストレス科学研)	14:30 15:30	地域保健 ③	座長: 西垣 千春(神戸学院大学)
		福祉施設におけるTQM展開を促進する職員満足度向上モデルの提案 大浦絢子(早稲田大学)			日本における外国人介護福祉士候補者の教育に関する研究 クリ・イメルダ(立教大)
		医療福祉系大学生の抑うつ症状に関する栄養疫学的研究 佐藤敏光(北海道医療大)			訪問看護を利用している高齢者の抑うつ傾向とその関連要因 石山満夫(千里津雲台訪問看護S)
10:15 11:15	地域保健 ②	CES-Dと学習状況の関連-SOCの影響を視野に入れて 志渡晃一(北海道医療大学)	15:30 16:30	地域保健 ④	認知症高齢者の要介護認定評価について～介護の手間の構成要因 午頭潤子(日本社会事業大)
		座長: 石竹 達也(久留米大学)			座長: 志賀 文哉(富山大学)
		「中核市」移行へのHIA(健康影響予測評価)適用事例 星子美智子(久留米大学)			地域見守り活動における個人情報取り扱いに関する課題 前原なおみ(宝塚大学)
大牟田市立総合病院の経営形態移行に関する健康影響予測評価の適用事例 星子美智子(久留米大学)					Language Barrier Freeとアンドロイド仕様多言語問診票の可能性 林田雅至(大阪大学)
					グループダイナミクスと生活福祉 志賀文哉(富山大)

7月15日 第3会場 M601(中)					
午前			午後		
9:15 10:15	労働衛生 ①	座長: 柳 尚夫(兵庫県洲本保健所)	14:30 15:30	労働衛生 ③	座長: 北原 照代(滋賀医科大学)
		男性労働者の抑うつ症状とその関連要因における疫学的研究 上原尚絃(北海道医療大)			看護職者の頸部周囲痛に対して、理学療法士による介入の効果 富田 純也(近石病院)
		保健医療福祉職の抑うつ症状とその関連要因 蒲原 龍(道都大学)			看護師の看護業務負担と腰痛の現状 西田直子(京都府立医大)
10:15 11:15	労働衛生 ②	職場のメンタルヘルス不全者の患者会の役割と課題 藤野ゆき(常磐会短期大学)	15:30 16:30	労働衛生 ④	夜勤交代勤務の多量飲酒習慣との関連 森河裕子(金沢医大)
		座長: 平田 衛(関西労災病院)			座長: 西山 勝夫(元滋賀医科大学)
		盲ろう者通訳介助員の心身負担に関する一考察～質問紙調査の結果から 北原照代(滋賀医大)			振動障害を減らすための今日的な提言 樋端 規邦(徳島健生石井クリニック)
盲ろう者への通訳・介助作業の負担要因 重田 博正(大阪社会医学研究所)					鉱業の削岩機使用者に見られた振動障害の問題点 三宅 成恒(京都城南診療所)
某医療団体職員の休業統計 中村 賢治(大阪社会医学研究所)					三池炭鉱じん爆発事故にみる生活問題と労災補償のあり方 田中智子(三池高次脳連、佛教大)

7月15日 第4会場 M706(大)					
9:15 10:15	感染症 ①	座長: 川畑 拓也(大阪府立公衆衛生研究所)	14:30 15:30	感染症 ③	座長: 田村嘉孝(大阪府立呼・アレルギー医療C)
		大阪府内のHIV感染症の流行状況と対策について 川畑 拓也(大阪府立公衆衛生研究所)			高齢者結核療養支援における保健師の困難感 山路由実子(三重県立看護大学)
		「夜間休日常設 HIV 検査場における受検者の分析」第1報 毛受 矩子(四天王寺大学)			2010年のハイチ大地震と結核をめぐる諸問題 角 泰人(日本リザルツ)
10:15 11:15	感染症 ②	同上第2報 中西真弓(NPO スマートライフネット)	15:30 16:30	感染症 ④	低まん延を迎える結核対策について-サンフランシスコ視察から②- 田淵紗也香(高槻市保健所)
		座長: 田丸 重貴(大阪府立公衆衛生研究所)			座長: 高野 正子(高槻市保健所)
		大阪府における多剤耐性結核の分子疫学 田丸重貴(大阪府立公衆衛生研究所)			東日本大震災における感染症情報の収集と対策 砂川 富正(国立感染症研究所感染症情報C)
飯場における結核の取り組み(仮) 内藤康志(大阪府茨木保健所)					東日本大震災の食中毒発生への影響に関する検討 徳田浩一(東北大学)
当院における外国人結核患者の発生状況と医療提供体制の課題 田村嘉孝(大阪府立呼・ア医C)					

7月16日 第1会場 M704(中)					
午前			午後		
9:15 10:15	生活 格 差 ①	座長: 逢坂 隆子(四天王寺大学大学院)	14:30 15:30	生 活 格 差 ③	座長: 黒田 研二(関西大学)
		西成区北部地域での医療活動において看護が出来ること 岡田広美(くろかわ診療所)			食を通したホームレスの自立支援ーサンフランシスコ視察から その①ー 山中珠美(大阪大学)
10:15 11:15	生 活 格 差 ②	西成区北部地域での貧困と生活保護・社会保障と医療について 黒川 渡(くろかわ診療所)	15:30 16:30	生 活 格 差 ④	経済的困窮に陥った難病患者世帯の実情 西垣 千春(神戸学院大学)
		釜ヶ崎労働者の粉塵関係労働・喫煙問題の考察ー肺機能検査からー 松田光恵(NPO HESO)			医療事務業務からソーシャル・ワークへの業務発展の試み 川島 亮(くろかわ診療所)
		座長: 今西 秀明(関西女子短期大学)			座長: 星 且二(首都大学東京)
		釜ヶ崎で歯科診療所開設して、一年半の試み 渡邊充春(わたなべ往診歯科・歯科保健研究会)			緊急一時宿泊事業における若年利用者の実態 中野加奈子(佛教大学)
		ホームレス者の健康支援を通じた社会的包摂の推進に関する研究(その4) 鍛冶葉子(甲南女大)			The Chronological Relationships between Socio-economic Status, Physical Health and the Long-term Care Needs of Japanese Urban Elderly 楊 素雯(首都大学東京)
		近年におけるホームレス問題の特徴と変容に関する考察 加美嘉史(佛教大学)			

7月16日 第2会場 M705(中)					
9:15 10:15	虐 待 薬 物 ①	座長: 尾崎 泰子(大阪府立高槻支援学校)	14:30 15:30	ソ ー シ ャ ル サ ポ ー ト ①	座長: 水内 俊雄(大阪市立大学)
		子どもの虐待を止めるために〜厳罰よりも回復ケアを 伊藤 悠子(NPO 法人 子育て運動えん)			GISを用いた飛び込み自殺に関する空間分析 波多野 頌子(早稲田大学)
10:15 11:15	虐 待 薬 物 ②	小学校高学年に対する喫煙・薬物乱用防止教室に関する考察ー教室前後のアンケートから 曾我 洋二(神戸市保健所、灘区保健福祉部)	15:30 16:30	ソ ー シ ャ ル サ ポ ー ト ②	移住外国人女性の妊娠・出産・育児期における課題とソーシャルサポートーカナダ・トロントの事例を中心にしてー 逢坂由貴(九州大学)
		服薬アドヒアランスへの医療人類学的アプローチ 西 真如(京都大学)			在日韓国朝鮮人集住地域における保育の一考察 森本宮仁子(大阪聖和保育園)
		座長: 野田 哲朗(大阪府立精神医療センター)			座長: 三戸 秀樹(関西福祉科学大学)
		深夜の街における思春期少年の健康問題 田中 勤(名古屋市立大学)			乳幼児を育てる母親へのサポートと Sense of Coherence との因果構造 高城智圭(首都大東京)
		薬物を使う人はなぜ「助け」を求められないのか 倉田 めば(大阪ダルク、Freedom)			生徒指導の在り方と保健室経営の関連性 野口法子(関西福祉科学大学)
		MSM(Men Who have sex with men)向け予防啓発大規模イベントの継続が大阪のMSMコミュニティに与えた影響 塩野徳史(名古屋市立大学)			重症心身障害児施設における福祉と医療の調和とは 佐藤祐輔(四天王寺大学)

7月16日 第3会場 M601(中)					
9:15 10:15	健 康 問 題 ①	座長: 森岡幸子(大阪府国民健康団体連合会)	14:30 15:30	健 康 問 題 ③	座長: 内藤義彦(武庫川女子大学)
		山間過疎地域における循環器疾患と生活習慣、生活への満足感、近隣および地域との親交との関連について 須永恭子(富山大学)			地域の健康格差における健康習慣の関連ー生活習慣病をアウトカムとした山村地域の健康度の説明ー 立瀬剛志(富山大学)
10:15 11:15	健 康 問 題 ②	過疎地域における高齢者の暮らしに関する研究ー医師・保健師の視点から 上村聡子(甲南女大)	15:30 16:30	健 康 問 題 ④	認知症有病割合の減少ー地域在宅高齢者のレディネスと教育効果 山本千紗子(中京学院大)
		山間過疎地域と新興住宅地におけるソーシャルキャピタルと健康の関連の違い 立瀬剛志(富山大)			カザフスタン共和国における健康知識と態度に関する研究 齋藤 篤(早稲田大学)
		座長: 渡邊 充春(わたなべ往診歯科)			座長: 吉田 寛(吉田アーデント病院)
		高齢者における口腔機能向上プログラムの実践と効果 井上直子(首都大学東京)			低出生体重児の発現要因に関する体系的文献レビュー 芹澤(田中)加奈(早稲田大学)
		歯科医院受診者における口腔状況と主観的健康感の構造分析 田野ルミ(埼玉県立大学)			災害時における保健師活動(支援活動の経験から) 吉田澄世(大阪府泉佐野保健所)
		高齢者の所得格差と健康格差ー介護保険自治体アンケートからの検証 高橋和行(流山市役所)			公共政策と社会医学 熊澤大輔(東京医歯大)

7月16日 第4会場 M706(大)					
9:15 10:15	放 射 線 影 響 ①	座長: 高松 勇(たかまつこどもクリニック)	14:30 15:30	特 別 口 演 ②	寺西 秀豊(富山大学)
		低線量放射線障害の検討 入江紀夫(いりえ診)			1 安全学からみる薬害と安全の関係 辛島 恵美子
10:15 11:15	放 射 線 影 響 ②	低線量被曝の影響ー累積被曝量 20mSv 以下 高松 勇(たかまつこどもクリニック)	15:30 16:30	特 別 口 演 ③	2 ソーシャル・イノベーションと社会医学 佐分利 応貴
		保育園の保護者を対象とした内部被ばくに関する意識調査 西村知沙香(京都府立医科大学)			高鳥毛 敏雄(関西大学)
		座長: 林 敬次(はやし小児科)			座長: 林 敬次(はやし小児科)
		低線量被曝が胎児に与える障害に関するレビューー 林 敬次(はやし小児科)			3 公衆衛生サービス供給の日英比較制度分析ー方法論的考察ー 松田 亮三
		低線量放射線障害の検討ー福島原発事故を巡ってー乳児・小児白血病 柳元和(帝塚山大)			4 東日本大震災と「自己責任型社会政策路線」の破綻 池上 洋通
		南相馬市における仮設住宅入居者に対する健康支援 川口 敦子(摂津市高齢介護課)			

第53回日本社会医学学会総会(大阪)

2012年7月15日(日)									
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場				
	M704(中)	M705(中)	M601(中)	M706(大)	M602(大)				
9:00-9:15	開会式								
9:15-10:15	15-1 医療福祉①	15-2 地域保健①	15-3 労働衛生①	15-4 感染症①	シンポジウム1 「医療と介護を結ぶ多職種連携」～地域 包括ケアを進める条件を考える～				
10:15-11:15	15-1 医療福祉②	15-2 地域保健②	15-3 労働衛生②	15-4 感染症②					
11:20-12:20					会長講演 「現代社会における社会医学の立ち位置」高鳥毛敏雄(関西大学)				
12:20-13:20					総会 昼食(弁当) 1F ミューズレストラン				
13:20-14:20									講演1 「薬害事例からみた 安全政策の推移と課題」 浜六郎(医薬ビジネスセンター)
14:30-15:30	15-1 医療福祉③	15-2 地域保健③	15-3 労働衛生③	15-4 感染症③	シンポジウム2 「新生児医療の進歩と 障害児療育」				
15:30-16:30	15-1 特別口演①	15-2 地域保健④	15-3 労働衛生④	15-4 感染症④					
16:40-17:20	ミニシンポ 「戦争と医学」 西山 勝夫		ミニシンポ 「障害者の労働と健康」 埜田 和史	特別企画シンポジウム 「原子力災害と公衆衛生」					
17:20-18:00									
18:00-19:45	自由集会1 「戦争と医学」		自由集会2 「障害者の労働と健康」	自由集会3 「原子力災害と公衆衛生」					

2012年7月16日(月・祝)					
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
	M704(中)	M705(中)	M601(中)	M706(大)	M602(大)
9:15-10:15	16-1 生活格差①	16-2 虐待・薬物①	16-3 健康問題①	16-4 放射線影響①	シンポジウム3 「感染症と人権」 ～予防と治療のハザマにある課題～
10:15-11:15	16-1 生活格差②	16-2 虐待・薬物②	16-3 健康問題②	16-4 放射線影響②	
11:20-12:20					講演2 「政策評価に社会医学の視点をツールとしてのHIA(健康影響予測評価)の 必要性 石竹達也(久留米大学)」
12:20-13:20	昼食				
13:20-14:20					講演3 「わが国のNCD(非感染症疾患)対策への 警告」 大島明(大阪がん相談支援 センター)
14:30-15:50	16-1 生活格差③	16-2 ソーシャルサポート①	16-3 健康問題③	特別口演② 1 安全学からみる薬害と安全の関係 辛島 恵美子 2 ソーシャル・イノベーションと社会医学 佐分利 応書	
16:00-16:30	16-1 生活格差④	16-2 ソーシャルサポート②	16-3 健康問題④	特別口演③ 3 公衆衛生サービス供給の 日英比較制度分析—方法論的考察 松田亮三 4 東日本大震災と「自己責任 型社会政策路線」の破綻 池上洋通	
					シンポジウム4 「現在の公衆衛生の課題」 ～エビデンスに基づく公衆衛生とそれを 担う自治体の役割～
奨励賞授与 閉会式					